

鹿 児 島 県 に お け る

BB肥料とLPコート(くみあい被覆尿素)

鹿 児 島 県 経 済 連
生 産 資 材 部 技 術 主 管

永 井 芳 雄

1. 鹿 児 島 県 の 土 壤

鹿 児 島 県 の 耕 地 面 積 は、 昭 和 57 年 度 で 総 面 積 147,400 ha, うち水田 50,000ha (34%), 畑 97,400ha (66%) である。土壌の母材は水田では火山噴出物のシラス、畑では黒色火山灰(黒ボク)が多い。従って土性は一般的に粗く、砂壤土ないし壤土が主で、水田は全体の約80%、畑は約75%となっている。畑の中で特殊土壌としてボラ土壌・礫土壌が約10%分布している。

2. BB肥料とLPコート利用の背景

本県のBB肥料は昭和55年より製造を開始、各種作物について展示試験を実施しながら推進がはかられてきた。年度別の普及状況は昭和56年度34,000トン、昭和57年度37,000トン、昭和58年度38,000トンとなっており、作物別では水稲他35%、甘しょ25%、さとうきび40%である。

BB肥料の普及は当初極めて順調であったが、漸次その伸びは鈍化の傾向にある。

前記のとおり本県の土壌は全般的に土性が比較的粗く、また雨量の多いことから、一般的に追肥の比重が高い。最近、兼業農家の増加に伴い、労力面より追肥の回数を減らす傾向にあること、また青果用甘しょをはじめサトイモなど野菜類のマルチ栽培が急速に普及しつつあり、作業面で追肥が困難になってきていることなどから、基肥としてちっ素肥料の緩効的肥効が要求されるようになった。

そこでBB肥料に配合が可能であり、しかも緩効の程

第 1 表 LPコート入りBB肥料の銘柄

肥料の名称	N-P-K-Mg	特 徴	適 用 作 物	58年度 供給実績 トン
BB48	16-16-16	Nの17%が LPコート40日タイプ	水稲・飼料作	975
BB050	10-15-10-2	Nの35%が LPコート40日・70日 タイプ	水稲・飼料作	91
BB222	12-12-12-2.5	Nの83%が LPコート140日タイプ	野菜・花	51
BB30	10-10-10	Nの64%が LPコート70日タイプ	野菜・花	1
BB555	15-15-15	Nの48%が LPコート100日タイプ	野菜・花	1

第 2 表 畑かん下における礫土壌の
LPコート入りBB肥料の肥効

鹿 (農業試験場)

[甘しょ]

(kg/10a)

区 名	上 い も 重		つ る 重		無 機 態 ち っ 素 · mg/100g	
	重 量	比 率	重 量	比 率	植 付 1 ヶ 月	植 付 3 ヶ 月
化成、追肥2回、少肥	3,342	100	1,794	100	0.9	1.0
BB222、基肥、少肥	3,943	118	2,056	115	8.0	3.6
化成、追肥2回、多肥	3,955	100	2,232	100	4.0	1.8
BB222、基肥、多肥	4,642	117	2,425	109	8.8	3.8

品 種 ミ ナ ミ ュ タ カ 施 肥 ・ 植 付 5 月 7 日 収 穫 10 月 28 日
少肥区は10a当り N 10kg, P₂O₅ 15kg, K₂O 25kg
多肥区は " " 15, " 22.5, " 37.5
BB222区は少肥・多肥いずれも追肥は行わない

度が自由に選択できるLPコートが、配合原料として有望視されている。

3. LPコート入りBB肥料の現状

LPコート入りBB肥料については、当初主として水稲を対象にBB48・BB050を作り、展示圃で肥効を確認しながら普及をはかってきた。その後、野菜を対象にBB222が作られ、マメ類・サトイモなどで試験を実施し

て、その効果を確かめ、普及されつつある。

更にBB30・BB555が新たに作られた。

4. LPコート入りBB肥料の肥効

(結果)

畑地かんがい地区の礫土壌において、甘しょに対するLPコート入りBB肥料の肥効は極めて顕著で、少肥区・多肥区ともに収量が明らかに優った。

肥効の持続性については、植付け後約1カ月、約3カ月目の土壌中の無機態Nの含量からも明らかにうかがえる。

第3表 黒色火山灰土壌におけるLPコート入りBB肥料の肥効(農業試験場)

〔サトイモ〕

(kg/10a)

項目 区名	総収量		子芋		孫芋		L-2L	
	重量	比率	重量	比率	重量	比率	重量	比率
化成(緩効性)区	2,985	100	2,532	100	453	100	1,736	100
BB222区	3,124	105	2,657	105	467	103	2,059	119

品種 大吉 施肥・植付 2月25日 収穫 10月26日
マルチ栽培 全量基肥で追肥は実施せず
両区とも10a当り N 15kg, P₂O₅ 15kg, K₂O 15kg

(結果)

黒色火山灰土壌において、マルチ栽培下のサトイモに対し、LPコート入りBB肥料の肥効は、収量でやや優り、特にL~2Lの大規格芋重で優った。追肥の実施しにくいマルチ栽培下では、LPコートの特徴が十分期待される。

むすび

鹿児島県では、温暖性を活かした早出し野菜の振興が積極的にはかられつつあり、昭和56年度現在、野菜の品目別作付総面積は約15,000haに達している。(だいこん3,490ha, ばれいしょ2,040ha, さやえんどう1,710ha, さといも1,470ha, 青果用かんしょ1,370ha, キャベツ1,200ha, かぼちゃ880ha, すいか819ha, はくさい610ha, にんじん585ha, きゅうり423haなど)

これらの野菜の中で、生育期間の長い品目については、今後それぞれの生育相に見合ったLPコート入りBB肥料の需要増が見込まれる。一方、水稲については、地域別水稲配合肥料設定の気運が高まる中で、生産性向上を目的としたLPコートの活用がすすむものと考えられる。

チッソ旭の新肥料紹介

★作物の要求に合わせて肥料成分の溶け方を調節できる画期的コーティング肥料……

ロング <被覆燐硝安加里> **LPコート** <被覆尿素>

★緩効性肥料…… **CDU**

★バーミキュライト園芸床土用資材…… **与作V1号**

★硝酸系肥料のNo.1…… **燐硝安加里**

★世界の緑に貢献する樹木専用打込み肥料…… **グリーンパール**



チッソ旭肥料株式会社